

大腸がん検診で早期発見・治療を目指す

文＝山田 晴菜（保健師）

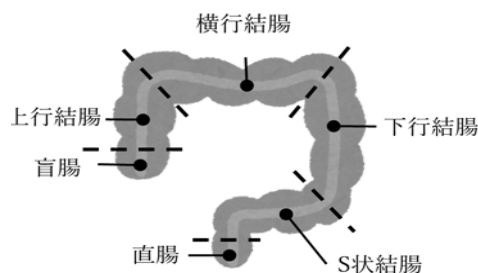
日本における大腸がんの死亡者数は、がんの中では肺がんに次いで2番目に多い、ということを知っていますか？

令和6年には約8万4千人が大腸がんで亡くなっています。また、罹患者は40歳代から増加傾向にあり、今後もさらに増加することが予測されます。大腸がんが増加している理由の一つとして、食の欧米化により、肉や脂質を多くとり、食物繊維の多い穀類や野菜、海藻などをとる量が少なくなったことが考えられています。また、肥満や喫煙、過度の飲酒、運動不足なども大腸がんのリスクを上昇させます。

町でも、毎年検診を通じて、早期発見につなげています。この機会にぜひ検診を受けてみませんか？

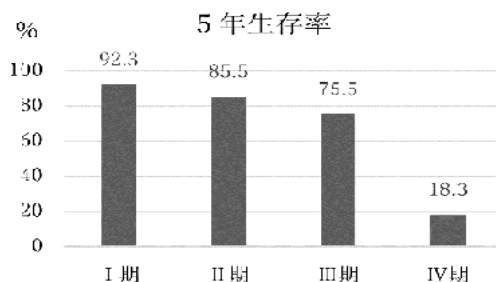
？そもそも大腸がんって？

大腸の粘膜にできるがんのことです。大腸は、肛門に近い部分の直腸とそれ以外の部分の結腸に分けられ、それぞれ直腸がん、結腸がんと呼ばれます。日本人は、S状結腸と直腸にがんがでやすいと言われています。がんが進行すると、血便や腹痛、便秘、下痢、体重減少などの症状が現れます。



！早期発見・治療で治る可能性が高い！

大腸がんはⅠ期からⅣ期までの段階で表され、数字が大きくなるほど、がんが進行していることを示します。中でもⅠ期の5年生存率は92.3%と高く、見つかる時期が早いほど治療の効果も高くなります。ただし、初期の段階では自覚症状がほとんどないため、定期的に検査を受けて、早期に発見し治療することが大切です。



町が実施している「大腸がん検診」を受診しましょう！

検診日時 令和9年1月16日(土)～17日(日)
両日ともに6時30分～11時00分

対 象 町内在住の40歳以上の方

検査方法 便潜血反応検査

料 金 1,000円

申込方法 電話（☎ 62-6020）または下記の
QRコードからお申込みください



締 切 令和8年12月10日(木)

★道立羽幌病院でも個別検診を受診できます★

期 間: 令和9年3月31日まで

料 金: 無料

申 込: 病院に直接お申込みください(☎ 62-6060)

対象年齢 40歳 昭和60年4月2日～昭和61年4月1日

45歳 昭和55年4月2日～昭和56年4月1日

50歳 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日

55歳 昭和45年4月2日～昭和46年4月1日

60歳 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日

65歳 昭和35年4月2日～昭和36年4月1日

※上記年齢の方は、町が実施する検診の料金も無料です

※がんの早期発見・治療のために年1回の受診を
お勧めします。

📞お問合せ

すこやか健康センター内 健康支援課保健係 ☎ 62-6020